

令和5年度 第2回  
 泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会  
 議事録

開催日時	令和5年8月7日(月) 午後1時30分～午後3時20分
開催場所	バルセンター2階 第1研修室
出席者委員	川井委員長、各務委員、上東委員、高寺委員、檀委員 藤原委員、藤井委員、木下委員、喜多委員
欠席者	鈴木委員
事務局	
案件	(1) 地域包括支援センターの令和4年度実施報告について (2) 地域密着型サービスについて (3) 現行計画(令和3年度から令和5年度)の達成状況について (4) 事業所アンケート結果報告について (5) 計画構成案について (6) その他
資料	資料1 地域包括支援センターの令和4年度実績報告について 資料2 地域密着型サービスについて 資料3 現行計画(令和3年度から令和5年度)の達成状況について 資料4 介護保険サービス提供事業所調査・ケアマネジャーに関する調査結果報告書 資料5 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和6年～8年度)の策定について <当日配布資料> 泉大津市健康づくり推進条例の概要 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・在宅介護実態調査結果報告書の修正箇所一覧 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査在宅介護実態調査結果報告書

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>本日は皆さま方には何かとお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。          本会議は公開となっております。本日1名の傍聴の方がおられますので、よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>それでは、ただいまより第2回高齢者保健福祉計画・介護事業計画推進委員会を開会いたします。本日の会議については泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会規則第6条第2項の規定により、委員10名中本日の出席委員は9名でありますので、本委員会の会議は成立いたしますことをまずご報告させていただきます。</p> <p>まず初めに前回の資料の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査在宅介護実態調査と今回の資料の介護保険サービス提供事業所調査・ケアマネジャーに関する調査結果報告書の中に訂正箇所がございます。報告書修正箇所一覧をご覧ください。</p>
事務局	<p>失礼します。今回、アンケート調査報告の中で一部誤植と言いますか、数値の間違ひがございましたので、訂正箇所をご報告させていただきます。</p> <p>まずお配りしている報告書のほうには性別、年齢、介護認定状況の属性のデータが含まれていませんでしたので、今回、差し替え分ということで配付させていただいた3ページのところ、＜調査結果＞介護予防・日常生活圏域ニーズ調査回答者属性というものを入れさせていただいております。性別、年齢、介護認定の状況ということで、今回、こちらを追加させていただいております。よろしくお願ひします。</p> <p>またページをめくっていただきまして、報告書の63ページ、企画運営としての参加ということで、問5の結果、グラフと表で表しておりますが、こちらが差し替え分の64ページになります。先ほどの3ページが追加されましたので、1ページずつずれていってございまして、今回、64ページの差し替え分を見ただきまして、こちらのほうの前回調査の結果の数値が一部、誤っておりますので、今回64ページの差し替え分に訂正の数値を入れさせていただいております。</p> <p>また85ページをご覧ください。設問の中に前回、皆さまの報告書の中には「新規設問」と記載されていましたが、今回、差し替え分の86ページを見ただきまして、こちらの内容については、「新規設問」ではございませんでしたので、その「新規設問」の記載を削除させていただきました。</p> <p>また139ページをご覧ください。こちらのほうのグラフ、主に介護している方はどなたですかというところで、数値のほうが誤っておりますので、差し替え分ということで1ページずれて、140ページの差し替えのデータを入れ替</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<p>えさせていただいたかたちになっています。大変申し訳ございません。</p> <p>また 163 ページをご覧ください。就労の継続に効果的な勤め先からの支援というところがございますが、こちらのほう差し替えということで、数値のほうを 1 つずつずれていたところがございまして、訂正のほうをさせていただいております。その他の数値に誤りがあったというかたちになります。申し訳ございませんでした。数値の訂正をさせていただいた上で報告書の完成というかたちで進めさせていただいております。よろしく願いいたします。</p> <p>また介護保険サービス提供事業所・ケアマネジャーに関する調査として配布させていただいた結果についても、一部数値とグラフについて修正がございます。事業所とケアマネジャーに関する調査報告書の 12 ページをご覧ください。</p> <p>(3) 人材不足の理由というところでございます。こちらのコメントの数値が間違っていたございました。グラフと異なった数値が入っていましたので、グラフの数値が正しいということで、訂正を入れさせていただいております。申し訳ございませんでした。よろしく願いいたします。訂正は以上です。</p>
事務局	<p>次に前回委員会で後日お調べした上で報告させていただきますとお伝えしました内容についてご説明いたします。</p>
事務局	<p>当日お配りした資料で、こちらの主な介護者という 1 枚ものの A 4 縦の表紙があると思います。こちらが前回、委員の方からご質問いただいて、質問に対して後日回答させていただくことになっていましたので、その件に関してご説明させていただきます。</p> <p>介護ヘルパーというところの数字をご覧くださいと、48.2%という数字が前回調査でありまして、今回の調査で 35.3%ということで 12.9%下がっている要因についてご質問がありました。この内容に関して、前回の令和元年 12 月に調査させていただいた内容があるんですが、令和元年 12 月はコロナウイルス感染症が拡大する前で、令和 2 年度以降、コロナウイルス感染症に関して、感染予防の観点から利用者の方がヘルパーのサービスを利用するのを控えることが多くなりました。そのため、令和 4 年 12 月時点で令和元年 12 月と比較すると、ヘルパーを利用される方が少なくなったということが考えられます。</p> <p>前回、お答えできませんでしたので、この場でお伝えさせていただきます。以上になります。</p>
事務局	<p>それではこれより審議に移らせていただきます。泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会規則第 6 条第 1 項の委員長が議長となる、に基づき、以下の審議について議長を委員長にお願いしたいと思っております。それではよろしく願いいたします。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	<p>はい。では改めまして、どうぞ今日もよろしくお願いたします。</p> <p>先ほどご説明ありましたが、本日の会議については、傍聴を認めておりますのでご入場のほどお願いたします。</p> <p>それでは案件に入ります。今日は5件の案件がありますので、それに従って進めてまいります。まず案件（1）地域包括支援センターの令和4年度実績報告について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>案件（1）地域包括支援センターの令和4年度実績報告について報告</p>
委員長	<p>ただいま令和4年度の地域包括支援センターの実績を報告していただきました。何かご質問、ご意見等ございましたらお受けいたします。</p>
委員	<p>（8）生活支援体制整備事業の②ささえあう地域づくり協議体と③地域ささえあいフォーラムの構成員を書いています。具体的に何名ぐらいで、どういう方が教えてください。</p>
事務局	<p>ささえあい地域づくりの協議体に関してですが、協議体のメンバーとしては、高齢介護課の職員、福祉政策の職員、泉大津市社会福祉協議会の職員、包括支援センターの職員（生活支援コーディネーター）、必要に応じて協議体のメンバーに関しては、自治会の方などを呼んで地域の課題抽出に努めることとなっていますので、通常のメンバーで言うところでは先ほど申し上げた高齢介護課の職員、福祉政策課の職員、泉大津市社会福祉協議会の職員、包括支援センターの職員（生活支援コーディネーター）が構成メンバーの中心となっています。</p>
委員	<p>では行政の方ばかりということですね。</p>
事務局	<p>そのとおりです。去年度に関して言えば、東豊中地域の社会福祉法人さまに入っていました。</p>
委員	<p>分かりました。行政の方と地域の住民が話し合う場があるのかなと思ったんですが、そういうことではない。</p>
事務局	<p>去年度で言えば、先ほど申し上げました通り、東豊中地域の課題にどういったものがあるのかということを通じて話を聞いたり、地域でラジオ体操に集まっていた時に地域の住民の方の声を聞いて、この地域でこういった支援が足りないな、こういうことで困っておられるんだなということ</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>をそこでお聞きしたりするケースがあります。</p> <p>自治会の方ですとか、民生委員の方とかも入る協議体があればいいなと思っているんですが。</p>
事務局	<p>委員がおっしゃる通り、その点に関しては時々地域課題などを吸い上げるために自治会の方や民生委員の方に入っていて、意見を吸い上げるようなかたちで取り組んでいければと考えています。</p>
委員	<p>医師会でできていないことの一つなんですが、医師会としては、地域の住民の方と意見を合わせるのには診療の場しかないんです。診療となると疾患のことばかりになってしまって、生活のことや介護の話はできないぐらい時間が短いので、行政の方と地域の住民の方が話し合う場がもしあれば、そこに医師会も呼んでいただければなと思っております。また検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>ご意見として承らせていただきます。</p>
委員長	<p>本当に医師会のほうから貴重なご提案をいただいていますので、今後、その方向を実現できるようなかたちにしていいただければいいかと思えます。</p> <p>1点伺いますが、包括ケア会議というのには民生委員さんとかそういう方々は入られていないのでしょうか。(5)の包括ケア会議についてですが。</p>
事務局	<p>包括ケア会議については、民生委員さんは入っていないです。</p>
委員長	<p>他にご質問はございませんか。ではただ今の地域包括支援センターの令和4年度実績報告については以上とさせていただきます。</p> <p>次に進めてまいります。(2)地域密着型サービスについて、事務局から説明をお願いします。</p> <p>案件(2)地域密着型サービスについて説明</p>
委員長	<p>ただいまご報告がありました地域密着型サービスについてのご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>たくさん地域密着型の種類があるわけですが、泉大津でやられているのは地域密着型特養と認知症のグループホームと地域密着型通所介護の3種類ということですね。その他の、これまでで言うのですが、ニーズがそんなに上がってきていない小規模多機能とか、今後必要になるだろうと思われるようなもの</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>は何かございますか。</p> <p>後ほど資料4でご説明させていただきますが、看護小規模多機能や小規模多機能サービス等必要ではないかとケアマネさんからの意見をいただいていますので、その辺は検証していく必要があります。他市でそのサービスを使っている人数なども踏まえて次の計画に位置付ける必要があると思います。アンケートの結果だけを踏まえるのではなく、その他の要因も勘案して検討していければと思っています。</p>
委員長	<p>今おっしゃっていただきましたように、他市のサービスを使っている方がどのくらいあるのかとか、そういう情報を集められるものは集めていただければと思います。</p> <p>他にございませんか。では地域密着型サービスについては以上とさせていただきます。</p> <p>引き続きまして、(3) 現行計画（令和3年度から令和5年度）の達成状況についてということで、事務局から説明をお願いします。</p> <p>案件（3）現行計画（令和3年度から令和5年度）の達成状況について説明</p>
委員長	<p>ただ今の説明について何かご質問あればお願いいたします。</p>
委員	<p>食や健康づくりボランティア育成講座の参加人数が8人ということですが、会場はどんなところでされたのでしょうか。</p>
事務局	<p>会場は即答ができかねます。申し訳ございません。</p>
委員	<p>8人の規模であれば、内科クリニックとかそういうところでもできる可能性もあるなと思ったんですが。駅前の貸し会議室のようなところを借りてされているのか。</p>
事務局	<p>即答はできませんが、所管課が健康づくり課になりますので、保健センターにて実施していると思われまます。</p>
委員	<p>もしよろしければですが、食や健康づくりということなので医師会に言っていただけたらと思います。</p> <p>もう一つ、リハビリテーションの出前講座があるんですが、これもリハビリテーションですので、整形外科など医師会とコラボしていただいて市民の方に</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>来ていただいたらいいのかなと思ったんですが。ご検討願います。</p> <p>分かりました。ただいまのご意見は健康づくり課にも情報提供をさせていただいて、お申し出いただいたことを踏まえて検討してまいりたいと思います。</p>
委員	<p>そうしていただけたらと思います。よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>本当にアイデアをいただきながら実現可能性もありそうですので。やられているところが健康づくり課ということですので、そちらのほうへ情報提供いただいて、また引き続き検討していただくことにいたしましょう。</p> <p>他にございませんか。では現行計画の策定状況については以上とさせていただきます。</p> <p>引き続きまして（４）事業所アンケート結果報告について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>案件（４）事業所アンケート結果報告について説明</p>
委員長	<p>ただいまご報告いただきました調査結果について何かご意見、ご質問等ございましたらよろしくお願いします。</p>
委員	<p>11 ページ、[2] 人材の過不足状況について、【過剰】のところでは 100%になっているのは間違いではありませんか。</p>
事務局	<p>【過剰】について回答いただいた件数が 1 件ございまして、n が 1 になっております。介護福祉士以外の介護職の方が 1 件ということで 100%になっているというかたちになります。</p>
委員	<p>25 ページ、職員の方の勤務時間について教えてほしいのですが。これは一般的な僕が認識する時間からすると少ないと言ったらおかしいですが、一般的には 40 時間ですよね。40 時間プラス <math>\alpha</math> と比べると大分少なめかなと。人材不足と言われているんですが、実際で見たらこんな感じ。もうちょっと細かく職種によって調査したら、もしかしたら出るのかもしれませんが。</p>
事務局	<p>週 40 時間を超える労働をする場合は、36 協定を結んで法定時間外労働賃金を払わないといけないことになっていますので、正職員は 40 時間というイメージはあると思うんですが、介護保険法の人員基準上は、週 32 時間以上で事業所が定める時間を常勤として扱うことになっていたと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	先ほど委員さんがおっしゃったのは、週40時間というのは労基法上の規定であって、介護保険法の規定は32時間以上にはなると思われますので、その違いで時間が少ないと思われているのではないかと思います。
事務局	休みを外したら5日間。1日にするとどうなるでしょうか。
事務局	1日で考えると、例えばデイサービスでサービス提供時間が8時間というケースあったとします。その場合、サービス提供時間は週40時間という数字になると思うんですが、サービス提供時間8時間の中でも少なくとも45分の休憩時間を従事者に与えないといけないので、1日の労働時間は7時間15分になり、週の労働時間は36時間15分になると思います。常勤職員でも週の労働時間が40時間より少し短い事業所はあると思います。
委員	人材不足の話があったかと思いますが、34ページに施設等への入所希望者数という項目がありますが、これは実際、希望して入居できる率でしょうか。スムーズに入れているのでしょうか。それとも施設によっていろいろあるかと思いますが。人材不足で、資源の集中と言いますか、こういうところにも方針として集中させたほうが効率が良くなることもあるかと思いますが、その辺りのお考えとか方向性があれば教えていただきたいのですが。
事務局	特別養護老人ホームに関しては待機者数を市で把握しています。大きな流れで言うと、待機者数は減っていています。泉大津に関してはサ高住（サービス付き高齢者向け住宅）、有料老人ホーム、現時点で27施設ありまして、それに関しては他市に比べてサ高住、有料老人ホームに関しては数が多いと把握しています。 特別養護老人ホーム（地域密着型特別養護老人ホームを含む）についても市内に6施設あり、施設の数としてはある一定、充足しているのかなという考えでいます。 特別養護老人ホームに入所できない方に関しては、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に入所される方が多いです。 そういった中で有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入って、特別養護老人ホームの入所待機者に、空きが出ましたとお伝えしても、このまま有料老人ホームで過ごしますという回答をされる方もいらっしゃいます。待機者の中にはそういった方もおられますので、純粋な待機者を把握するのは難しいとは考えています。
委員長	他にいかがでしょうか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>34 ページ、特養、老人ホーム、サ高住の申し込みがすごく減っているように感じます。実際に令和2年度と今回の令和5年度に関して、サ高住に入居されている方を担当している件数自体が、ケアマネがすごく減っている状態なので、次のアンケートをする時はこのままでいくのか、サ高住を分けて出したほうがいいのか。特養がすごく減っているように感じるのは、特養の人气がないように見える。実際にはケアマネジャーが1人あたり持っている件数が、例えば40件と決まっていて、40件のうち、令和2年度はサ高住さんを担当している件数が2件だったのが、今、1人当たりのケアマネジャーの担当している件数はサ高住を10件ぐらい持っているケースが多くなってきていて、220件中45件ぐらいがサ高住になっているということなので、アンケート調査の件数に出せるかなと思っています。</p>
事務局	<p>ご意見いただきましたので、次回の調査時にはその意見を参考にさせていただきます。</p>
委員長	<p>他にはいかがでしょうか。アンケートについてのご質問は以上とさせていただきます。また最後に時間があるようでしたら、お伺いします。</p> <p>では、案件（5）計画構成案について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>案件（5）計画構成案について説明</p>
委員長	<p>では、ただいま計画構成案についてご説明いただきましたので、これについてご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p> <p>2ページ目、第9期計画については見直しのポイントとして3点挙げていますよという、国が挙げているポイントをご紹介いただきました。</p> <p>そして4ページ目では、記載を充実する事項案ということが、これも国で示されているということで、その中で泉大津ではヤングケアラーのことというお話があったかと思いますが、先ほどのアンケートでいくと、数は分かりませんが、ヤングケアラーについてケアマネジャーはよく知っていますということで、その対応が必要な方がいますかというご質問でしたでしょうか。今のところは、どの程度ヤングケアラーの実態がつかめているのかという辺り、何かありましたら教えていただきたいと思います。それを充実させていくというお話だったかと思いますが。</p>
事務局	<p>国の基本指針の案の中ではヤングケアラーを含めた家庭における介護負担の</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	<p>軽減のための取組を進めていくための重要性を追記していますということで、ヤングケアラーに関しては1つの例ですが、地域包括センターの総合相談支援機能の活用ということはどうでしょうかというようなことが国の案には書かれています。</p> <p>ただ、実際問題として地域包括支援センターでヤングケアラーのこみ入った事案があるかとなると、地域包括支援センターから聞いているのは、先ほど充実させていくということは申し上げつつですが、やっぱり高齢者を介護される方がおられて、実際介護される方というのは40代、50代の方が多いということで、18歳未満、当該年度3月31日まで18歳になられる方のヤングケアラーの実態としては、そこまで数的には多いものではないと聞いています。</p> <p>ただ実際問題として、ヤングケアラーの問題が取り上げられている以上は、数の問題ではなく、ある一定の対応はしていかなければならないということで、国でも記載すべき充実事項に入っています。国の例示した、先ほど申し上げた地域包括支援センターの総合相談機能を活用するかどうか等を踏まえて、何らかの対応は必要と考えています。</p> <p>では、今おっしゃった方向で対応の検討をお願いしたいと思います。</p> <p>他にご質問、ご意見等ございませんか。ではこの計画についてご質問、ご意見がないようでしたら、先ほどのアンケートについて聞きたいということがあればそれもお伺いしますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどの計画の中での、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組の2番のところで、デジタル技術を活用し、介護事業所、医療、介護間での連携を円滑に進めるための医療、介護情報基盤の整備というのは国から何か具体的にNCS（メディカルケアステーション）とか何かいろいろ利用するとか、そういうのが出てるとか、泉大津独自で考えていいのか。医療と介護の情報共有、医療者と患者さんの情報の共有が一番だと思うんですが、これが今できていないんです。そこを何とか情報の共有ができたらと思うんですが、医師会だけでもできませんし、介護事業者だけでも難しいと思いますので、ここは行政の方に間に入っていただいて、医療と介護の連携が進むような取組を具体的にご提案いただけたらいいなと思っています。</p>
事務局	<p>委員からお申し出いただいた通り、医療と介護の連携はやはり今後在宅生活、市民が最後まで望んだ、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）という言葉が出ていますと思いますが、在宅で住み慣れたところで本人が望んだかたちで最後を迎えるということをよく言われていますので、医師会、訪問看護ステーションを含めた介護事業者等がいかに関滑に連携するかについて市のほうでも考</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>えています。今後どのような方向性でいくかを踏まえて、ご意見として承らせていただき、適正に計画等に反映していければと考えています。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>他にございませんか。ではご質問、ご意見はないようですので、ただいままでのところで議題のほうは終了しますが、感想でも結構ですので、お1人ずつお話しただけたらと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>身近なお話を聞かせていただいています。中身が濃すぎてちょっと私には分からないところが多々ありましたが、それなりに勉強させていただきました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>ケアマネ協会です。今回、アンケートありがとうございました。ケアマネが高齢化していると。4人に1人が50歳以上ということで、介護職もかなり人数が足りないということで、10年後どうなっているんだろうと不安を持ちながら頑張っていきたいと思っています。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>多分ケアマネさんは経験があつて、そこから資格を取っていくと。だからどうしても年齢は40歳以上の方が多い。と聞いています。</p>
委員	<p>2018年のケアマネジャーの資格要件が変わってから、ケアマネジャー不足となっています。何かいい方法があったらよろしく願います。</p>
委員	<p>アンケート調査で介護人材不足というところが分かりました。これから人材不足が解消されていくことができたならなと切に思います。認知症の方で、軽度で介護度1とか2とかで回数が足らなくて、毎週行けないので入所しなければいけなくなってしまうというアンケート結果があつたので、家族や本人が安心して生活できるようになったらいいなとこのアンケートを見て思いました。</p>
委員	<p>高齢化が進む中で、民生委員としてどうにかたちでしていけばいいかと悩んでいたところですが、事案があつたらどういうところに持っていけばいいかはっきり分かればいいかなと思います。今日、いろいろな意見を伺い、大変参考になりました。</p>
委員	<p>前も少し出ていたかもしれませんが、介護保険サービス以外にあればいい支援ということで、33ページ、外出同行(通院・買い物など)が70.5%と大きな数</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	<p>字が出ているかと思います。薬局で患者さんを見ている、通院して薬局に薬をもらいに来るといところで苦労されている方がかなりたくさんおられます。今は来られているけれども来られなくなったらどうなるんだろうという方もたくさんいらっしゃいます。介護保険サービス以外になりますが、この辺りは積極的に同行支援サービスで対応するということを検討していただければと思います。よろしくお願いします。</p> <p>これから検討されるのではないかと思います。</p>
委員	<p>今日の事業所とケアマネジャーのアンケートについてですが、ケアマネさんが要望していることは、施設としてあまりやりたくないことだなとちょっと感じて、大変なことなんだなと思いました。その対応を含めて課題があるのかなとも思いました。</p>
委員	<p>高齢化社会ということで、アンケートでは人材不足とかケアマネジャーの不足という結果が出ていましたが、あまり把握ができていませんでした。泉大津はこういう方向で進んでいると。これをどういうふうにやっていくかという方向性を示す必要があると思います。</p>
委員長	<p>人材不足の件について、10年ぐらいずっと国の改善から都道府県に下りて、市町村に下りて行って、全体で我が事として人材不足を検討していきましょうみたいな話が出たと思いますが、今回のデータを見ていると、処遇改善加算がだんだん効果が出てきているのかなという印象を受けました。引き続き、人材確保についての対策を検討していく必要があると思います。</p>
委員	<p>ケアマネさんと主治医が連絡を取りにくいというアンケート結果がありまして、それだけ医師側が柔軟に患者さんの情報を提供できていない状況があったと思います。医師会としてすごく反省するところです。意思疎通が簡単に、日常的に行えるような環境整備が必要だと思いますので、医師の意識改革も急務だと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。それでは本日の案件については以上とさせていただきます。皆さん、どうもご協力ありがとうございました。</p> <p>では司会を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>以上で本日の推進委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	(終了)